

社団法人 静岡県 剣道連盟
居合道学科 答案用紙

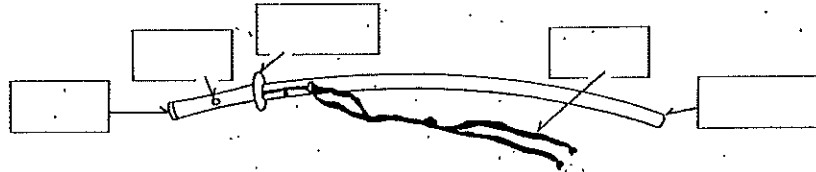
初段

受験番号

番 氏 名

次の□の中に適当な言葉を入れなさい。(挿入式問題)

1. 全剣連制定「剣道の理念」剣道は、□の□の修練による□の□である。
2. 日本刀の各部の名称(こしらえ)について、書き入れなさい。



3. 刀の物打ちとは、刀の□によって□ではないが、切っ先から刀身の約□位までの所で、最も□が入りやすく、よく□る所をいう。
4. 居合演武の始めの刀礼について、携刀姿勢から□し、正面床上に柄を右側にして□を置き、正座の□となった後、刀への□を行って、ふたたび□の姿勢となる。

5. 鯉口の切り方三種について

- (1) □つば(鍔)の□を親指の先で押して切る。
- (2) □つば(鍔)の□に親指の指紋部をあてて押して切る。
- (3) □つば(鍔)に親指をかけて切ると同時に、人さし指をかけて控える。

6. 下緒の効用について、書き入れなさい。

- (1) □を留む (2) 敵を□るによし (3) □越ゆるに用い
- (4) □に用い (5) □を固むによし

7. 居合道における居とは何か。居合の□とは□の居る所ということで、□も居、□いても居、□つても居である。

8. 制定居合の技の名称、1本目～5本目までを書きなさい。

- (1) □ (2) □ (3) □ (4) □ (5) □

9. 制定居合の4本目「柄当て」について、次の(1)(2)に答えなさい。

- (1) 柄のどこで、どこを当てるか _____
- (2) 後の敵のどこをつくか _____

10. 全剣連「制定居合」1本目前、2本目後における刀の振りかぶり方と、1本目～5本目までの切り下ろした時の切っ先の位置と、6本目～10本目までの切っ先の位置で注意するところを書きなさい。(記述式)

